

令和 2年 1月15日

高社研地理部会専門委員会資料

部会長

第3回地理部会資料集編集委員会

平成30年度活動計画において、部会の新教育課程への対応の一環として有志による「資料集」の編集、作成を構想いたしました。

いよいよ、各校においても新教育課程実施準備が進んでいると思います。「埼玉の地理」を生徒さんたちにより理解してもらうために、有志編集委員会設立の具体的な活動を提起させていただきます。

先生方の教科指導・教材研究の一端を集め、教員同士で共有、生徒、保護者、県民のみなさまへ生涯学習の材料として提示できるようなものにできればと思っております。なにとぞ、先生方のお知恵とお力を集め、よいものを社会へ還元したいと思いますので、どうか、お力添えください。

1. これまでの経緯

1. 資料集編集の目的

本県高校社会科研究会地理部会教員の実践や研修、研究を集め、生徒への教科指導上の資料とし、また、広く教員の研修資料として活用するとともに、県職員としての高校教員の研究や教育実践を高校生以外の県民へも還元する。

2. 資料集編集の方針

研究会員の各勤務地域の地物や史料に関する情報や会員の研修、研究を平易にまとめ、中学生以上の県民の知的な興味に答えられる記述とする。その際、地図、地形図を用い、会員の研修、研究成果も加えることのできる編集とする。編集については有志による編集委員会を中心とし、会員の執筆原稿を集め、編集することとする。

3. 編集委員会の募集、設立について

編集委員会は会員・元会員から有志委員を募集し、委員をはじめとする会員の原稿を集め、編集する。

出版に際しては編集委員会で業者等の選定を行い、交渉、作業をおこなう。原稿収集、編集については委員間のメールでの通信により進め、出張等の手当ては行わない。

4. 費用について

本来、「研究成果刊行」の予算を用いるところであるが、予算縮小の折、販売による頒布に頼ることとし、それが可能な業者を委員会により選定し交渉を進める。

5. これまでの日程（実施済）

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 2019年1月 | 編集委員募集を部会専門委員会にて審議。委員・執筆者募集及び業者選定を開始。 |
| 2019年2月 | 第3学期研究会にて委員、執筆者の募集を行う。 |
| 2019年2月 | 高社研理事会で資料集作成について報告。 |
| 2019年3月 | <u>内容の検討</u> 。編集委員・執筆者の決定。執筆依頼。（進行中） |
| 2019年3月以降 | 原稿執筆（開始済）。（秩父①・本庄・越谷①は済） |

2. 当面の日程（今のところの予定＝想定内ですが遅れていますので、ずれていきます。）

- | | |
|----------|--|
| 2019年末以降 | 原稿締切、納入。出版業者選定（未実施・公開方法の検討）。 今ココ |
| 2020年末 | 校正・出版 |
| 2020年度末 | 刊行 |

3. 今回の提案 ＜内容（案・検討中）について＞

①全県立高校周辺または県内全駅周辺の巡検ガイド

⇒全高校、全駅は作業が膨大になるので、まず県内100地区を定め、巡検地点の吟味（予察・紙上を含む）とコースの選定を開始する。＜別紙＞＝年明け（3学期専門委員会）目途？

②これまで（21世紀）の地理部会の巡検コースガイド

⇒管外研修、隣接都県での巡検（今夏季休業中の公開巡検も）を含め、これから「研究集録」の記録等を集めこれを元に、実践報告的にまとめていく。

③巡検コースガイドを活用したアクティブラーニング例・④地理部会会員の研究、研究報告、記事

⇒各校の校外行事や修学旅行などの情報も含め今後情報募集、執筆依頼。

4. 参考

<章立ての例>

- 0. はじめに
- 0. 1 役員挨拶
- 0. 2 本書の使い方
- 0. 3. 巡検とは
- 0. 3. 1 地理学者、学生の巡検
- 0. 3. 2 大人の社会科見学
- 0. 3. 3 高校地理教員の巡検
- 0. 4 埼玉の地理
- 0. 4. 1 地学的見地から
- 0. 4. 2 歴史的見地から
- 0. 4. 3 自然への人々の働きかけ
- 0. 4. 4 社会的見地から

1. 地域別巡検コース紹介

- 1. 1 秩父地区
- 1. 1. 1 1～1 1
- 1. 2 北部地区
- 1. 2. 1 1～1 2
- 1. 3 西部地区
- 1. 3. 1 1～3 1
- 1. 4 東部地区
- 1. 4. 1 1～2 6
- 1. 5 南部地区
- 1. 5. 1 1～2 0

2. 巡検×アクティブラーニング

- 2. 1 巡検とアクティブラーニング
- 2. 2 実践例
- 2. 2. 1 1～?
- 2. 3 実践案
- 2. 3. 1 1～?

3. 県境を越えて

- 3. 1 隣接都県への巡検
- 3. 2 実践例、コース紹介
- 3. 2. 1 1～?
- 3. 3 更に遠くへ

<校外学習・修学旅行・海外派遣・個人の実践>

4. 巡検に役立つ情報

- 4. 1 地形図
- 4. 1. 1 国土地理院地形図
- 4. 1. 2 地理院地図
- 4. 1. 3 国交省の各種情報サービス
- 4. 2 各種地図サービス
- 4. 2. 1 google 各サービス
- 4. 2. 2 今昔マップ・mandala・Kashmir

4. 2. 3 その他各種電子地図

- 4. 3 統計関連
- 4. 4 各種アーカイブサービス
- 4. 4. 1 国会図書館
- 4. 4. 2 報道機関
- 4. 4. 3 博物館等

5. 地理教育と巡検

- 5. 1 巡検の学校教育上の役割
- 5. 2 学習指導要領と巡検
- 5. 3 I C T活用と巡検
- 5. 4 この本の巡検先の学習指導要領上の位置
- 5. 5 他社会系教科との関連
- 5. 5. 1 歴史地理学との存在
- 5. 5. 2 地域社会・地域経済
- 5. 6 他自然科学系教科との関連
- 5. 7 生徒の体験と認識拡張の上での地理教育

6. さいごに

- 6. 1 生徒諸君へ
- 6. 2 地理以外の社会系教科の先生方へ
- 6. 3 学校の外の方々へ

7. 参考文献・謝辞・執筆者紹介

<ページの作り>

0章はあいさつ文等の記事

1章はコースを入れた地形図とその解説ページ
地形図半ページとのこり1ページ半程度の見開き
で1地域を取り上げる=これだけで200ページ
になる。

地区のパートや各章が終わるところでインターミ
ッションとして「コラム」などが入れれば面白い。

「コラムの例」

地形図記号など地図の読み方・県内偉人の足跡・
巡検先で聞いた興味深い話題・埼玉の意外な*
*・県外との関係・埼玉の将来・埼玉の悩み・埼
玉の高校生・埼玉の各種産業・県民皆が知ってい
る埼玉の名物 etc…前回資料集執筆後の各テーマ
についての変化も…

2章は「未来を拓く」の各教材資料などをまとめ
ることになると思います。3章は移動距離の大き
い巡検記録なので、地図の量も多くなると思いま
す。1項目のページが増えると思います。

4章5章は資料を図示しながらの学術論文調でい
いのではないかと思います。

6章は先生方が伝えたいこと、思いのたけをお伝
えいただくという体でいいと思います。